

霊峰に
夏
来たる

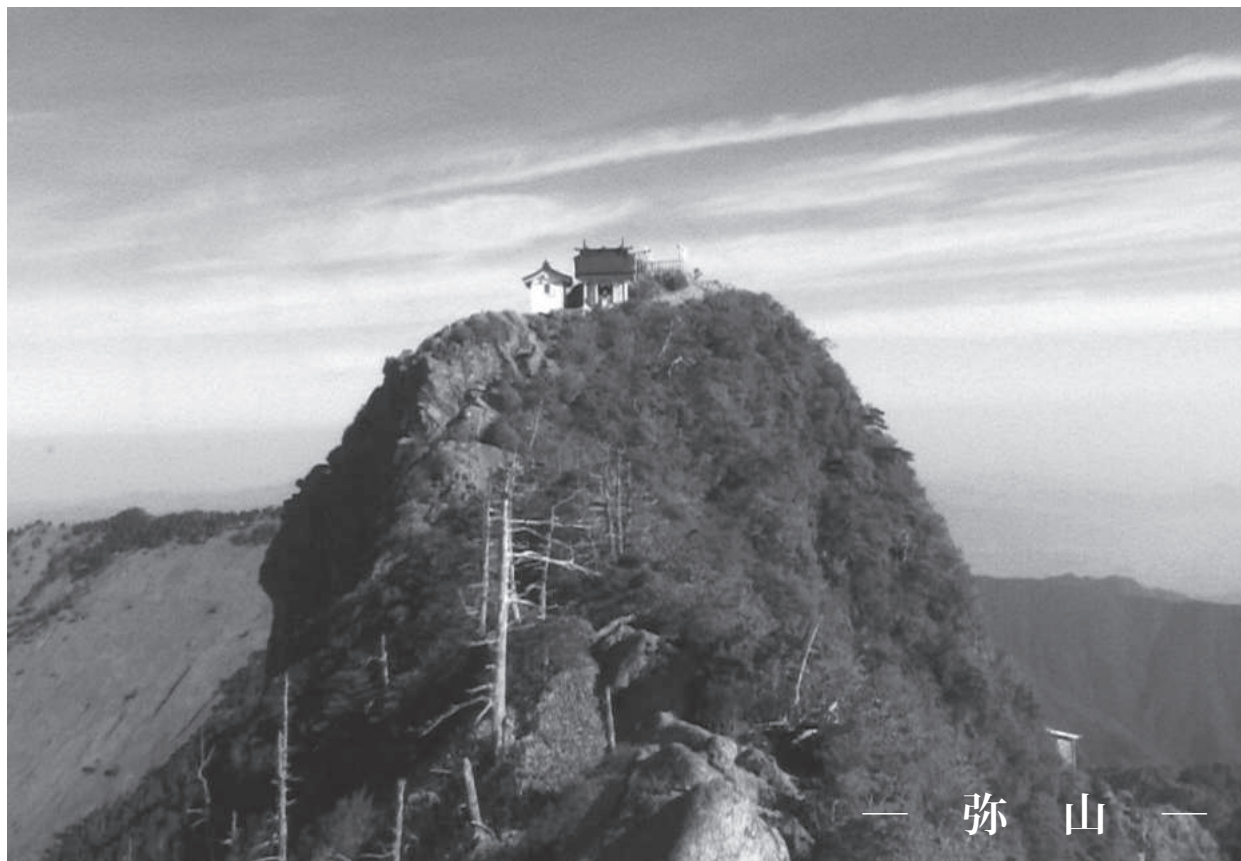
石鎚社報

発行所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

7・8月号



— 弥 山 —

道

朝の来ない夜は無く、止まない雨は無い、と信じております。

疫病から人の命を守る、社会を守る。果敢に挑み崇高な日々を送られる、医療、輸送、販売の方々に万感の思いでエールを送りたいと思います。

今、私たちが心がける事は、
うつらない事、
うつさない事、
大切な人を守る事。

今夏の御山開き大祭は、本社神職と市内の総代の皆さまにて神様のお祭りを厳修し、全国の先達の皆さまには御山を遥拝くださいます様、お願いを申し上げます。

ご理解ご協力をくださり、誠に有難うございました。

御山を遥かに拝され、神棚には御祈禱の御神札を、お手元には神様のお守りを。お心は霊峰石鎚山へと、ご参拝が叶う事と存じます。皆さまの御神徳拝受をお祈り申し上げます。

武智。

霊峰石鎚山

先達信徒の皆さまへ



石鎚神社 宮司

石鎚本教 管長

武智正人

見舞いを申し上げます。

コロナ禍の中、本年の御大祭は、皆さまの健康と安全を最大限に考慮し、祭儀は本社神職と地元西条市内の役員にて、懸命に厳粛にご奉仕致しました。

皆さまには、各地より一緒に祈りをくださり、誠に有難うございました。

御山開き大祭は、
厳粛に恙無く、斎行されました。
先達信徒の皆さま、
ご理解ご協力をくださり、
誠に有難うございました。

神職と奉仕総代一同は大神様の御動座のご奉仕に於いて、全国の皆さまからの祈りがひしひしと伝わりました事を強く感じております。

を大神様もお喜びである、と強く確かに感じました。

御大祭の日々の中に、皆さまの深い思いを拝見し、胸熱く深く感謝を申し上げます。

ご参拝をお控え戴きます中にも皆さまから多数の、御初穂料、預かり賽銭、御祈禱、お守りのお申込みを戴きました。

土小屋遥拝殿御鎮座五十周年へのご奉賛も、多数に御預かりさせて頂きました。

有難く、謹んで神納させて頂いております。

私自身も「宮司登拝」の行事にて、三ノ鎖を経て頂上社に到着の時、お鎮まりの御神像の、目に見えぬ御光に輝く御姿を拝し、全国信徒の皆さまが心から望まれ拝される御姿であり、遥かな熱いお祈り

大祭中の頂上社にて、全国の教会、遥拝所、講社の各団体様の弥栄を日々、御祈禱致しました。各団体様にはその御神札をご送付申し上げます。

御神像は、頂上社より成就社を経て本社に厳粛に恙無く還宮されました。

謹んでご報告申し上げます。

霊峰石鎚山の命甦る候、御山開き大祭に御神威益々輝き渡り、御芳志の皆さまの御神徳拝受、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます、以てご報告と御礼と致します。

皆さま、本年はご理解ご協力をくださり、誠に有難うございました。

どうぞ来年こそは、お揃いでご参拝下さいます様、お願いを申し上げます。

敬具

令和2年7月豪雨災害の被災地の皆さまには、心からお祈り

七月十一日、石鎚大神様の

令和2年 霊峰石鎚山 石鎚神社 お山開き大祭 写真

6月30日 本社から成就社へ 御神像 御動座

本社 御神像 出御祭



大元神社（御旅所） 清祓



成就社 御神像 著御



六月三十日 御神像 随行
禰宜 曾我部英司
権禰宜 大岡忠徳
山崎浩司
常務総代 伊藤光貞
氏子総代 十亀貴文
曾我部壽正・藤原拓

7月1日 成就社から頂上社へ 御神像 御動座

成就社 御神像 出御



三の鎖から頂上社へ 御神像 著御

氏子総代 十亀貴文・藤原拓	常務総代 湊照彦・伊藤光貞	頂上山荘 人見義一	権禰宜 玉井安胤・片岡明路	権宮司 十亀博行	七月一日 御神像奉持
------------------	------------------	--------------	------------------	-------------	------------



7月6日 宮司登拝

常務総代 伊藤光貞	巫女 越智美月	権禰宜 大岡忠徳	宮司 武智正人	七月六日 宮司登拝
--------------	------------	-------------	------------	-----------



7月10日 頂上社から成就社へ 御神像御動座

頂上社 御神像出御祭



頂上社 出御



成就社 著御



七月十日 御神像奉持

権宮司 十亀博行

権禰宜 山崎浩司

玉井安胤・片岡明路

常務総代

湊照彦・伊藤光貞

氏子総代

十亀貴文・藤原拓

7月11日 成就社から本社へ 御神像御動座

成就社 出御式



大元神社（御旅所） 清祓



本社 著御



七月十一日 御神像 随行

権宮司 十亀博行

権禰宜 山崎浩司

常務総代 伊藤光貞

氏子総代 十亀貴文

曾我部壽正・藤原拓

本教理事 田窪一善

令和二年 表彰状 発令

本年のお山開き大祭において新先達を五名以上育成され、新会符のお世話を頂いた大先達に表彰状が発令されました。

「会符を受ける」という事は石鎚大神様の信仰の氏子となり、石鎚山と深いご縁を頂く事であり、そのご縁結びを数多くお世話下さった『大先達』の顕彰であります。

表彰の栄に浴された皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げ、来年に向けて一人でも多くの新先達と石鎚大神様とのご縁が結ばれますよう祈念し、ご報告と致します。

権宮司・十亀 記

お初穂奉納者

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《成就社》

令和二年四月

◎五万円以上

大西志津子

《本社》

令和元年四月

◎壹拾万円以上

山崎 玲子

令和二年六月

◎五万円以上

浅海 重子

令和二年七月

◎参拾万円以上

中西 幸男 平岡 明

沖野 和義

◎壹拾万円以上

岡村 信一

(順不同・敬称略)

また、本社での五万円以上

のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。

ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責 権欄宜 大岡

頂上社護持奉賛会 寄付者 芳名簿

令和二年六月一日から

令和二年七月三十一日まで

※五万円以上奉納奉納者

(順不同・敬称略)

◆西条周桑崇敬組合◆

壹拾萬円以上

十亀 興美 十亀 悦子

◆福岡崇敬組合◆

五拾萬円以上

福岡神和教会 佐伯 良子

外一同

◆大分崇敬組合◆

貳拾萬円以上

中西 幸男

真心のご浄財を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。

尚、奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。

担当 大岡・岩本

福岡崇敬組合

福岡田川教会長

榎並 好美 元老顧問

高知崇敬組合

野市遙拝所長

出原 孝文 監長

初心遙拝所

山崎 重寿 特選部長

大分崇敬組合

尺間嶽教会

田島 大悟 特別大監長

東予崇敬組合

瑞明遙拝所

西川 薫 元老

高松石鎚の会

柏原 宏康 名誉部長

中予崇敬組合

東雲講社

黒田 明子 元老

お初穂奉納者

お山開き大祭(預かり賽銭)他

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《本社・預かり賽銭》

◎七拾万円以上

讃岐神大遥拝所

大高 久呼

◎五拾万円以上

福岡神和教会

佐伯 良子

◎参拾万円以上

香春教会

川津 守秀

◎貳拾万円以上

吉見教会

加藤 法泰

◎壹拾万円以上

下関教会

田辺 和彦

導不動院遥拝所

岩崎 光照

薬王院

石崎 法潤

豊の国石鎚講社

姫野 昌訓

松本 光子

◎五万円以上

穂波教会

越智 節子

田村 昌代

福村 忠宏

西山講社

西山 安磨

足立 正夫

森口 和子

原田 浩一

宮木チエ子

《本社・初穂》

◎壹拾万円以上

葉山教会

岡村 信一

◎五万円以上

西山講

西山 一夫

神明遥拝所

大西サカエ

和食教会新居支部

岩倉教会

森田 一男

星川 正治

田中 聡哉

松浦 節子

木村 篤子

鈴木 昭南

永島 悟

鈴木 昭南

鈴木サチエ

《成就社・預かり賽銭》

◎参拾万円以上

大阪教会

湊 喜美子

◎貳拾万円以上

睦美教会

田窪 一善

◎壹拾五万円以上

大阪周布教会

湊 照彦

《成就社・初穂》

◎五万円以上

石鎚登山ロープウェイ(株)

代表取締役 伊藤 和豊

《土小屋遥拝殿・預かり賽銭》

◎壹拾万円以上

九州石鎚大権現社

須堯 宣行

《土小屋遥拝殿・初穂》

◎五万円以上

薬師寺文夫 谷脇 榮

(順不同・敬称略)

ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責 権欄宜 大岡

奥宮 頂上社 御内陣
御幌 奉納

奥宮頂上社の御内陣の調度品であります「御幌」を御奉納頂きました。

「御幌」は、頂上社、三体の御神像後ろを囲むようにある錦の幕であり、殿内の装飾として御神威をより発揚して頂く調度品です。

この度、篤志の方より御奉納のお申し出を頂き、新調致しました。頂上社ご参拝の折は、ご覧頂ければ幸いです。

ここにご披露申し上げます、御礼とさせていただきます。

記・権宮司 十亀 博行

令和二年度

夏山大祭

元老以上

昇進者一覽

一般の夏山大祭にて元老以上に昇進された皆様の御芳名をご紹介します。

元老級は石鎚神社先達の幹部となります。今後益々の御活躍をお祈り申し上げます。

《元老》

愛媛県

東温市

黒田 明子

香川県

高松市

山地 充容

高松市

谷本ふみ子

高松市

西浦 順子

高松市

内村 文子

高松市

垂水 雅子

さぬき市

飛開原慶子

小豆郡

坂出 忠臣

徳島県

小松島市

村井 宜美

高知県

室戸市

村田 憲典

広島県

広島市

谷本なおみ

廿日市市

阿部 昌悟

廿日市市

阿部 美帆

熊本県

菊池郡

手嶋 義明

大阪府

大阪市

丸田 俊二

《元老顧問》

愛媛県

松山市

西藤 忠樹

新居浜市

菅野 辰子

西条市

伊藤 博昭

西条市

黒川 敏博

西条市

武田登紀子

香川県

木田郡

白石 始一

高知県

四万十市

森田 茂

広島県

福山市

浅利 伸吉

福山市

沖本 一

呉市

稲田 勲

山口県

防府市

迫 清美

宇部市

坂本 時広

福岡県

田川郡

榎並 好美

大分県

佐伯市

木浦 由香

大阪府

大阪市

山崎 浩史

吹田市

藤邨 光洋

東京都

世田谷区

中村アサミ

《元老大顧問》

愛媛県

西条市

吉田 宏

今治市

津吉 利幸

西宇和郡

中村 満治

香川県

高松市

平野 和子

高知県

高知市

西峯 恵子

高知市

井上 稔恵

広島県

尾道市

西原 善久

廿日市市

中政 博義

廿日市市

山下 洋子

広島市

皿海まどか

(順不同・敬称略)

(文責 権瀬宜大岡)

お知らせ

石鎚立螺之会主催

第二十七回

石鎚立螺法講習会

並びに法螺奉納大会

中止のお知らせ

例年十一月二日・三日に成就社にて執り行われていた、石鎚立螺之会主催石鎚立螺法講習会並びに奉納大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、皆様の健康と安全をお守る事を第一と考え、今年度は中止とさせていただきます。

次回、感染症が収まりましたら開催させていただきますので、皆様是非ご参加くださいますようお願いいたします。

御 奉 納

七月一日から十日までの霊峰石鎚山お山開き大祭にて『幟旗』を境内に奉納いただきました。
令和二年七月吉日 『霊峰石鎚山お山開き大祭幟旗』

23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	本社本殿	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	頂上社
香川県善通寺市与北町	〃	熊本県玉名郡和水町江田	〃	〃	福岡県田川市伊加利	〃	熊本県玉名郡和水町江田	愛媛県上浮穴郡久万高原町日野浦	〃	〃	福岡県北九州市小倉南区北方	大分県別府市桜ヶ丘	熊本県玉名郡和水町江田	愛媛県上浮穴郡久万高原町日野浦	福岡県北九州市小倉南区北方	福岡県久留米市御井町	愛媛県西条市小松町南川甲	〃	愛媛県西条市周布	香川県高松市屋島西町	大分県別府市桜ヶ丘	香川県善通寺市与北町
橋本 義則	肥国合神遙拝所登拝者一同	木浦 ツヤ子	木浦 妙美	木浦 孝文	肥国合神遙拝所	本多 利美子	竹内 ヤチ子	上田 聖二	上田 聖二	上田 聖二	田村光章・清水真智子	本多グループ 代表 本多 繁利	上浮穴郡教会 坪内 統	上田 聖二	松本 長人	勝本貴大・美奈子・康雅	一色 百合美	一色 章二	東予崇敬組合・柏原 宏康	田村光章・清水真智子	橋本 利行・桃江	

(順不同・敬称略)

令和二年度 御山開き大祭頂上社 御神酒奉納者御芳名

令和二年「霊峰石鎚山御山開き大祭」に、頂上社へ御神酒の御奉納を戴きました方々の御芳名を紹介致します。
(敬称略・順不同)



福岡神和教会
佐伯 良子
牛尾 武司
原坂 嶺
高橋 照彦
上廣 敏彦
中川 八重美
小山 和子
日高 知子

(株)日高合金
(有)日高ビル
(株)ソリッド
日高 小由里
(有)松浦竹田ファーム
グッドリフ
脇山 雄哉
(株)サンファーム
(株)エバーグリーン
諸熊 武秀
松原おこし 麻生本家
桑原 伸一
カーショップユアーズ
堀川 カチコ
檜崎 友美
行弘 清子
中牟田 勝志
藤井 博仁
古川 敬
入江 英夫
中山 幸枝
城崎 陽吉
新免 和枝
藤田鮮魚店
(有)福島建設
九州特殊メタル工業
湯浅 静子
加茂 美博
かけつぎ屋
ツツミ産業(株)
青木 淑恵
副島 眞紀子
山本 幸彦
森行 康則
権丈 東

星野 友紀
龍 力
浪瀬 利栄子
坂本 佐代子
赤坂教会
三山産業(有) 三山和良
浅利 好要
浅利 伸吉
木村 稔
細川 始
コムシヨット福山 三山克之
小林 梨絵
赤木 憲治
服部 高弘
小倉齒科クリニク
小倉 邦彦
矢野 浩司
小林 功志
岸守 良雄
石原 智昭
サンホテル福山
パークイン山陽小野田
坂田 光徳
櫻武 起典
貞宗 孝治
社会保険労務士 松浦誠二
サンホテル福山
1F レストラン
竹中 信恵
森谷 正志
柴田 正人
重森 常司
村上 アツコ
スタジオレディバゲ 浅利博康

貞任 順子
松永ツヤ子
(株)前田建設 前田良秋
貴至工務店 前田澄宏
阿川ランドセル(株)
阿川 政明
阿川 美恵子
日本民泊協会 大植敏生
(株)双葉製本所 福岡義登
大阪教会 湊喜美子
JCYシステム 石原英俊
藤川 真和
しやれ舞踊化 島本貴代
(株)福一不動産販売 島本昭
ヴァインテージ 湊恵子
(株)ミナト 湊恵子
(株)寝屋川興業
(株)エンタープライズ山要
(株)エンプラオートハウス
福岡 功
ロードサービス・イコマ(株)
稲上 満弘
昭和仮設リース(株) 吉見敏明
和歌山米穀(株) 久保輔
スーパースhipp(カナダ)リ
ミテッド
パシフィックシップマネージ
メント(株)
スーパースhippマリンサー
ビスインク
小林 三葉子
古曾部焼義崇窯 寒川義崇
四国軽貨物配送 湊照彦
(有)一色石材工業所 一色章二
北大阪清掃(株) 岩元雅清

(株)栄幸運送店	黒川 住子	伯方造船(株)	富晴産業(株)	村上石油(株)	日鮮海運(株)	日興汽船(株)	協和汽船(株)	金力汽船(株)	英弘汽船(株)	今治ヤンマー(株)	霧島汽船(株)	ダイハツディーゼル四国	(株)北ノ原弘之	如月汽船(株)	(有)東工業	(株)新地衛生	澤田 益男	セブン・イレブン	南店	(株)山源	(株)山源商事	プログレ	阪神内燃機工業(株)	蔵王教会	蔵王教会	若井ぼん・阿部龍弥	(株)MKオート	ペイントマン	理容きりしま	玉光堂	(株)京泉工業	(株)コアール	片岡 美春	(株)RESPECT
藤原輝男	木元裕行	木元裕行	村上博典	阿部克也	阿部克也	阿部克也	阿部克也	多田憲司	阿部弘孝	冠康秀	阿部和久	(株)阿部和久	(株)坂邊義光	赤瀬巨乙	大阪中津	新城孝文	山本剛也	山本剛也	山口玉緒	山本剛也	山口玉緒	深川健二	長久講	佐藤孝次	片岡直	藤井健二	西原善久	京泉晴洋	園尾英樹	南里松大				
小黒 達美	泉 幸子	高森 伸	キンデルパーク	廣田 誠一	池田 朝子	靈威教会	中西 幸男	防府教会	岩崎 勝美	加藤 倫生	吉村 明正	藤井 幹彦	梅田 幸康	宗 敏治	前田 智治	原井 良子	石崎 法潤	伊瀬 有介	丸山 敏幸	石崎 永翔	瀬戸 和範	長谷川 けい子	井上 聖耶	武岡 康	花田 和子	南井 英子	和田 善一	早川 照生	谷口 幸代	寺嶋 富久江	三宅 篤志	藤代 典久	中川 貴政	藤岡 初恵
大森 正博	吉見教会	宮木 チエ子	福村 忠宏	中尾 衣子	西井 千代進	西井 静枝	西中 松生	畝本 善吾	松本 光子	酒井 幸枝	丸小 賢三	水主川 豊伸	広島西教会	神原 秋光	岡本 嘉孝	岡本 辰明	延岡 等	備後南教会	三原市教会	阿部 信彦	阿部 圭	浅野 寛	石崎 昌司	下本 洋一	近藤 俊郎	大光汽船	大誠汽船	西井 澄明	須田 和恵	勝本 房利	大分石鎚教会	村井 宗幸	田尻 清久	田尻 淑子
豊の国石鎚講社	山口 展弘	穂波教会	越智 節子	小野 キソエ	肥国合神遙拝所	宮崎 実可	宮崎 好男	日高 真也	村上 功	近藤 仁志	近藤 梓	近藤 祐未	近藤 大嵩	松崎 光代	松崎 文子	松崎 福美	松山 福美	松山 恵子	戸上 博伸	戸上 祐子	戸上 洋平	日高 千尋	(株)仲光建設	守本 勝	松田 望	守本 よしみ	古閑 英一郎	戸上 幸典	(有)株本多グループ会社	本多 利美子	神田 美智恵	酒井 和子	三春 奈京子	
姫野昌訓		(二件)			日高智美																	栗山重行							本多繁利					

宮崎 千歳
瑞明遙拝所 西川薫(二件)
伊東 祐宏
神農 町子
ベルグクラブ 松元邦夫
讃岐石鎚遙拝所 高木康二
高松石鎚の会 柏原宏康
榎平 由紀
前田 由美
讃岐神大遙拝所
讃岐神大遙拝所 松岡昭夫
森 晃一
導不動院遙拝所 岩崎光照(二件)
岡村 信一
岡村 加代子
安岡 桂一郎
あいの里(旬) 原井川平
江戸 正二
尾田 チエ子
鶴久森 敦子
豊田 綾香
重松 誠道
下田 登久子
平岡 豊子
砂野 和美
砂野 利恵
砂野 勝子
砂野 秋子
近藤 勇
井上 和夫
横浜講社 大竹文子
東雲講社 黒田明子
重見 幸男
重見 嘉一
白石 眞崇

北温運送(株) 白石隆文
神野 武夫
武智 由定
西原 和男
千早遙拝所 麦田和徳
柳川 典子
伊台石鎚遙拝所 山本征壽
山本 眞理子
伊藤 佳次
水口 泉
水口 登美子
東山 伸也
岡本 勲
水口 誓雄
窪田 常忠
木下 幸嗣
小田 和也
東山 徳子
岡本 さおり
窪田 博文
藤野 晴雄
睦美教会(二件)
平原 幸好
越智 雅弘
戸田 正一
松本 幸子
松本 至弘
真鍋 光昌
藤田 義久
伊藤 史郎
今井 信吉
高橋 和良
荒井 和四郎
菅 忠昭
秋山魚市場

十亀 勉
矢野 孝明
古門 孝義
河端 光則
秋月 勝子
武智 晴子
井川 順子
平岡 明
愛知遙拝所 澁谷恵美子(五件)
沖本 一
島崎 高志
島崎 光子
難波江 辰一
宝光山関東石鎚教会
森田 茂
佐々木 美代子
樋口 方雄
上田 聖二
蓑部 為義
矢田 日門
神明遙拝所 大西サカエ
露口 幸記
牧 俊彦
森田 幸隆
森田 剛
南井 英司
金平 敏孝
佐々木一聡(五件)
(旬)藤本石油
伊藤 光貞
十亀 貴文
渡辺 義宣
松原 三喜夫
櫻井 温子

柴田 千重子
柴田 哲男
豊田 尚子
松本 佐千子
黒川 栄作
倉敷中央遙拝所 平松史朗
松木自動車 松木邦雄
佐川教会

以上三七一件
多くのご奉納をありがとうございます
ございました。

来年の奉献酒については、
本年御奉納頂きました皆様には
例年同様個別にご案内を差し
上げます。社報にも奉納案内を
掲載いたしますので、頂上社への御
神酒奉納を宜しくお願いします。

担当 権禰宜 勝本貴大



御神像奉持

習礼場完成

シュライジヨウ

御山開き大祭の象徴の一つである御神像奉持の勇躍奉仕を広く知って戴き、神事の安全を願い、同志の信頼と友情を深め、未来の御神像奉持の広がりを目指すのである。

此度、本社境内の一面に、「習礼場（シュライジヨウ）」が設けられた。

お一人でも多くの先達若人が、熱意と雄叫びと共に習礼を経験されん事を、祈るや、切！

習礼場には、石鎚山の象徴である御鎖が一条、懸崖された。徳島県、常務総代・本教理事、平岡明 神鏡 笏・元老大顧問のご奉納である。

石鎚神社では、毎年五月、三之鎖または本社境内にて、御神像奉持の「習礼（シュライ、練習）」を行っている。

建設に際し、備後崇敬組合、蔵王教会役員、深川兼臣特別大監長にお願いし、

貴重なご助言を多々戴いた。

施工に際し、

設計、施工管理、氏子立螺之会会長、岩本廣志、大取締役、施工、榎真鍋組、真鍋明夫殿、に深くお世話を戴いた。

右、ご関係の皆さまに心から感謝申し上げ、ご報告と致します。

文責、武智。



辞 令

大分崇敬組合

令和二年七月一日 付

組合長

浦松 たらまつ

傳 たえ

元老大顧問



〒八七四一〇八四一
別府市竹の内六組の一

白杵遥拝所

令和二年七月一日 付

遥拝所長

木浦 きうら

由香 ゆか

元老



〒八七六〇一〇一一
佐伯市弥生大字

井崎 一八九七―二

会計長

江崎 えざき

奈緒子 なおこ

名誉大監長



― 名称変更教会報告 ―

※当該教会鎮座地

福岡県田川郡鎮座

※旧事務所(教会)名

宗教法人石鎚本教田川教会

※変更新事務所(教会)名

宗教法人

石鎚本教福岡田川教会

※代表役員・教会長氏名

複並 好美 元老

※右、五月一日付、福岡県

知事の規則変更認証を得て

登記及び所轄庁届出完了。

― 教会代表役員

責任役員就任報告 ―

※当該教会鎮座地

大分県佐伯市鎮座

※事務所(教会)名

宗教法人

石鎚本教尺間嶽教会

※代表役員・教会長氏名

田島 ^{ダイゴ} 大悟 大監長



※右、就任日及び任期

令和二年五月十日就任

任期は、終身

※同責任役員氏名

田島 大悟 (代表役員)

村井 亮介 (相談役)

安部 秀子 (副教会長)

疋田 誠 (副教会長)

有江 有義

高司 勝箕

※右就任日及び任期

令和二年五月十日就任

代表役員以外の任期は四年

以上



訃 報

広島県 中津原遥拝所顧問

先達 元老大顧問

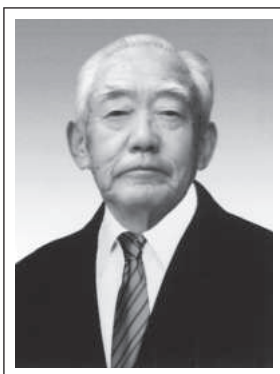
最高功労章 金笏

教師 大講義

戸 田 広 藏 大人命

令和二年七月二十一日

帰天



広島県福山市に鎮座致します中津原遥拝所にて長年に亘り石鎚信仰の道を広め、多くの信徒を導いて頂きました戸田広藏元大老顧問・最高功労章金笏が数え九十四歳の天寿を全うされました。

七月二十三日、葬祭場で告別式が執り行われ、神社を代表し生前のご功績を称え、弔辞を御霊前に捧げ、久遠のお別れを申し上げます。

戸田広藏大人命は昭和三十九年に新会符を受け爾来、石鎚のお山へ、神社へと多くの方々を導き、昭和五十九年に元老大顧問・平成二十六年に最高功労章金笏を拝受されました。

また昭和四十五年より、中津原遥拝所として初代・故戸田清一所長と共に大神様の御神前へ「新穀・お米」の奉納を始められ、爾来五十年の長きに亘り進められてきた事は神明も嘉賞する所であり、その後姿は多くの信徒の心と目に焼き付いている事と思います。

これからは高天原より神社本教・中津原遥拝所の歩む道を見守って頂きたく思います。戸田広藏大人命の御霊安かれとお祈り申し上げ、ご報告と致します。

七二〇一〇〇〇四

福山市御幸町中津原四四

ご遺族 ご子息

戸田 有治 殿

記 権宮司 十亀

中宮 土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年奉祝 改修工事奉賛会

銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年来の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りをしています。このままでは御社殿自体の損傷が進むと考えられます。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替・防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしく、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これからの維持管理の為、外回廊の防水工事・石畳の一部改修・また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。

改修工事費

①銅板御屋根の葺き替え

②木材外壁部の張り替え・防水対策工事

③周辺整備

奉祝費

一、奉祝大祭、奉祝式典、殿内掲額

事務費、予備費

計	八、五〇〇万円
合計	七、五〇〇万円
	五、二〇〇万円
	一、八〇〇万円
	五〇〇万円

ご奉賛頂きました皆様へは、下記の対応をさせていただきます。

奉 賛 金 額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲 額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○

◎ご芳名 全てのご奉賛者のご芳名は、土小屋遙拝殿に永久保存

◎銅板記名 銅板へお名前を記名

※銅板記名対応は、御屋根葺き替え完成直前までとさせていただきます。

※下記は、工事完成後に対応させていただきます

◎御神札 本奉賛会にて特別に奉製された御神札

◎記念品 本奉賛会、記念品

◎感謝状 本奉賛会、感謝状

◎掲額 土小屋遙拝殿内に、ご芳名を掲額

◎ご案内 奉祝大祭にご案内

◎銅板奉納 ※1口・2,000円。・本社、土小屋遙拝殿社頭にて

・お名前の記入は1名とさせていただきます。・受付は、お世話人様を通じて。

◆石鎚本教宗教法人教会各位 令和元年度 所轄庁提出書類

準備をお願いします。

例年、ご案内申し上げております所轄庁（都道府県）への書類提出が間近となつてまいりました。該当教会におかれましては、提出準備進行中のことと存じます。

今一度記入提出要項を左記によりご案内申し上げ、再度確認を御願ひ致します。

記

一、書類作成期間及び所轄庁への書類提出期限

◎石鎚本教の包括教会は規則上すべて、七月一日に会計年度が開始され、翌年六月三十日終了となります。書類は会計年度終了後三ヶ月以内に作成し、四ヶ月以内に提出の為

七月一日より九月三十日迄に作成し、
十月三十一日迄に提出となります。

◆書類は一度本社にご送付いただき、確認後返送いたします。確認の時間などを考慮しますと八月末頃にはご送付いただきましたくお願い致します。

◆送付いただきました書類は本社の方でとりまとめ、各都道府県の担当課へ転送いたします。

◆記入上の注意◆

書類はすべて複写式になっています。カーボン紙を使用して記入すれば同時に教会の控えができるようになっていきます。記入できましたら切り取らずにそのまま送りいただければ結構です。尚、記入は一冊のみです。残りは次年度用に保存下さい。

尚、提出書類の不足により書式が必要な方は本教宗教局までご連絡をお願いします。

(提出書類送付先)

〒七七九三―八五五五

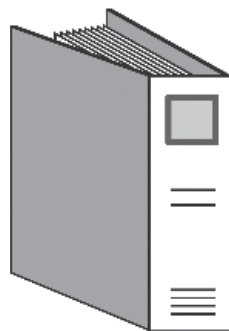
愛媛県西条市西田甲七九七

石 鎚 本 教 宗 教 局

曾我部 英司

電 話〇八九七―五五―四〇四四

FAX〇八九七―五五―七二四二



霊峰石鎚山

三十六王子社巡拝行

並びに納め札奉納お知らせ

〃お知らせ〃

※本年の三十六王子社巡拝行は、新型コロナウイルスを鑑み、本社職員にて巡拝行をさせていただきます。ただく予定です。

◎納め札は随時受け付けしております。

(三十六王子社 巡拝行とは)

役行者によって開山され、一千三百有余年の時を重ね、代々の修験者の足跡を直に踏み訪ねて参詣、そして祈りを捧げる三十六王子社巡拝行です。

自然の中に五感を投じながら神仏の御力を頂き、自己を見つめ直す事こそ巡拝行の大きな目的です。

◎納め札奉納について

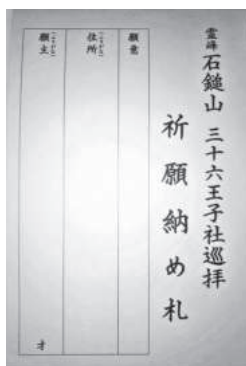
巡拝時に各王子社にて、祈願内容・住所・氏名・年齢を読み上げ、奉納します。

まずお申し込み戴き、必要冊数の納め札をお送り致します。皆様の手でお書き込み戴きまして返送してください。お申し込みはお早めに。

◎納め札奉納初穂料

一体(三十六枚)
五千元

それぞれに祈願内容、氏名等を祈願主本人がご記入ください。



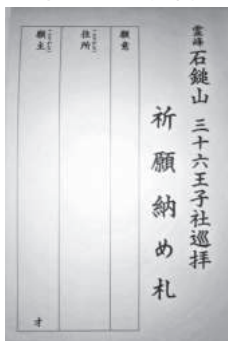
◎納め札本社提出締切

十月十日

◎巡拝後の授与品

巡拝修了後に三十六王子社御守を授与いたします。

三十六王子社御守



※巡拝・納め札のお申し込みは各崇敬組合長・教会長・遙拝所長にお申し込みください。(ご不明な点は本社山崎迄ご連絡ください。)

おかげ話

たかね第三十一号 平成十一年七月一日発行より

「極楽とは」

伊予市伊予郡支部 畠 中 明

先般、息子を訪ねて東京へ行く車中での事でございます。

岡山から乗り込んだ新幹線で、八十五才と言う老紳士の隣に乗り合わせる事になりました。永年小学校の教員を勤め、昨年奥さんに先立たれて、单身生活をして居られるとの事でした。色々話して居る中に、ふと「この世に極楽が本当に有ると思いますか」と言われました。私が「先生は今健康の様ですね」と尋ねると「はい、お蔭様で体だけは至って健康です」との答えでしたので「先生、健康でいられると言う事が人間一番の宝ですよ。物を食べてもおいしい。水を飲んでもうまい。それが極楽じゃあないでしようか。」と言いました。すると先生は「以前京都のお寺巡りをした時に、ある偉いお坊さんがあなたが今言った事と同じ様な事を、言われました。」と感慨深げでした……………そうだ、私達夫婦も共に永年の勤めを終え、

二人の厚生年金で暮らす身、共に体も元気で息子達もそれぞれ、人並みの生活を送っている。上を見ればきりが無い。これが私たちには今は極楽だと言えるのかなあ……………。

ああ、思えば昭和二十一年十九の年、初めて石鎚のお山に登り、お山の靈気に触れ、度を重ねる毎に石鎚の魅力に引かれ、先達と成りて幾星霜、昭和六十年教師の道にも足を踏み入れて以来、人並み以上の大恩恵を戴いてきました。

神に感謝し、山河草木一切の恵に感謝し、そして此の様な日暮らしの出来る幸せを感謝し、石鎚の神を崇める信者同志此の友との出会い、縁を大切に、益々精進して楽への道を迷わずに、進んで行きたいと念ずる次第です。

石鎚信仰 大道無門 千差路有

いしづちしんこう だいどうむもん せんさみちあり

石鎚信仰の大道には門は無く、至る所が路で有ります。信仰の大道のそれぞれの路を、共に手を取り合って進みましょう。大神様は誰にでも平等に、大御恵みを下さいます。

合掌

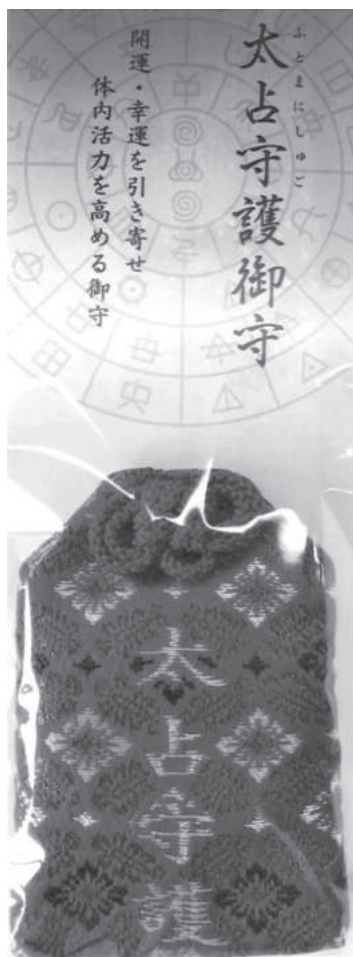
授 与 品 紹 介

ご祈願済み、新型コロナウイルスに負けず、ご加護とお力を戴く御守二体を謹製

ふとまにしゅご

太占守護 御守

ご利益く開運・幸運を引き寄せ・体内活力を高める御守



(金二千円也)



※御守の内符には、
左図のフトマニの図が彫られております。

ふとまに
太占の図は、日本の古代文字の起源の一つであるホツマ文字を使用し、宇宙の収縮図・法則とも言われています。更にこの図は、非顕在である「目に見えない世界」と顕在である「目に見える世界」の両極が共存しており、ホツマ文字は、日本古来の大和文字とも言われています。

とぐさのかんだからしゅご 十種神宝守護 御守

ご利益／當病平癒の力を授かり・体内浄化を高める癒やしの御守



(金二千円也)



※御守の内符には、
左図の十種神宝の図が彫られております。

とぐさのかんだから あまてらすおおみかみ たかみ むすびのかみ
十種神宝とは、天照大御神と高御産巢日神が、饒速日命に授けられた「天璽瑞宝」
を指しています。十種神宝は「瀛都鏡・邊都鏡・八握劍・生玉・足玉・死返玉・
道返玉・蛇比禮・蜂比禮・品々物之比礼」であり、靈力を宿した十種の神の宝を
指します。この神の宝の靈力は偉大で、国の盛衰興亡にも大きく影響をもたらす
力を持った神器であるとも言われています。更には、死者も甦らせるほどの靈力
があるとも言われています。

NPO
法人

石鎚森の学校活動報告

※創作神話昔話「明ける。」
〓日と月のものがたり〓
オンライン収録&発信

【日時】5月5日(火)

14時〓14時45分

【場所】阿部一成篠笛スタジオ
〓新居浜市、久寿奏恵バレエ
スタジオ〓松山市、石鎚神社本
社〓西条市

【出演】阿部一成〓篠笛、能
管、太鼓演奏、久寿奏恵〓バレ
エ、曾我部英司〓語り、祝詞

【制作スタッフ】阿部一成〓脚
本・構成・音楽、阿部龍太・
〓原案、小関由香〓ヘアメイク、
久寿奏恵〓振付、竹中加代美〓
制作・美粧、塚本洋子〓香り、
鳥山美春〓演出・衣装、林宏〓
藍染め、星加治美〓面制作、岩
本昌美・久寿浩子〓舞台補助

【協力】石鎚神社

NPO法人石鎚森の学校

この創作神話の舞台は、昨年
から標記関係者の間で浮上し、
5月5日の14時に先ず石鎚神社
中宮成就社に奉納。その後、時
期を見て一般の皆さまにご鑑賞
頂く舞台を展開するという段取
りで話を進めていました。ここ
ろが、年明けからコロナウイル
ス感染症の問題が発生。次第に
その影響は深まり、面会しての
奉納までのリハーサルや最終的
に現地での奉納も不可能と判断
中止か延期の選択を余儀なくさ
れました。



・・・結果、オンラインリモ
ートアプリのZoomでリハー
サルを重ね、フェイスブックで

関係者に同時配信。

後日、編集したプロモーショ
ン版に英訳も付けて先ずは一般
へオンライン配信するというこ
とで、無病息災、世界平和を祈
る舞台は、予定通りの日時に予
期もしていなかったオンライン
というかたちで催行されました。



※どうぞ、ご覧下さい！

プロモーションビデオアドレス
<https://youtu.be/hQLanbq4ei>

※通常総会&②理事長の互選
会を書面決議にて開催

【日時】①5月18日(月)

②5月24日(日)

理事長武智正人は、昨今の国
内外に拡がるコロナウイルス感
染症拡大防止のため、先ず通常
総会を書面決議開催として去る
5月18日に任期満了による理事、

監事の改選を提案。書面によ
り役員全員の重任が可決され
た。

次いで、理事兼事務局長の
曾我部英司が各理事に理事長、
副理事長の互選提案書を発し、
次のとおり書面及び電子メー
ルにより同意の意志を得たの
で、本法人定款第11条、第24
条、第25条、第26条に基づき
当該提案を可決する理事会の
決議があつたものとみなされ
た。

①

1、通常総会の決議があつた

ものとみなされた事項の内容

【承認事項】令和1年度事業
報告の承認について

【承認事項】令和1年度決算
の承認について

【承認事項】令和2年度事業
計画(案)の承認について

【決議事項】理事12名の選任
について

【決議事項】監事1名の選任
について

2、決議事項を提案した理事
の氏名

理事長 武智正人

3、議決権を行使することができ る正会員の総数74名

各提案に書面を以て賛意を表した正会員の総数56名

4、選任された理事、監事の氏名

理事／武智正人、西海賢二、伊藤和豊、加藤法泰、黒田仁朗、河野強、曾我部英司、鶴見武道、松井宏光、藤田晴彦、山田麻以、智内威雄

監事／小林亜紀代

以上、来る5月31日任期満了し理事、監事ともに全役員の重任を可決。任期は、来る6月1日より2年間、全員の就任受諾書を受理。

② 1、決議事項を提案した理事の氏名

理事・事務局長 曾我部英司

2、理事長選定の件

なお、被選定者は来る6月1日付をもってその就任を承諾した。

理事長 武智正人

3、副理事長選定の件

なお、被選定者は来る6月1日付をもってその就任を承諾した。

た。

副理事長 西海賢二

※創作神話昔話「明ける。」
〓日と月の物語〓
プロモーションビデオ収録



【日時】 5月29日 (金)

9時30分～15時

【場所】 旧別子集落小足谷地区／新居浜市

【行程】 山根公園駐車場集合 (9時30分) 〓小足谷集落へ向かう駐車場／海拔800メートル (10時30分) 〓徒歩にて小足谷劇場跡地へ (11時)、大いなる存在の撮影収録開始、昼食後、少し下方にある同地区の接待館跡で語り部パートの撮影収録〓

下山して山根公園で解散 (15時)

【参加者】 阿部一成、阿部龍太、鳥山美春、曾我部英司事務局長

過日収録した標記のビデオ。観賞されたところの方より更なる発信のために是非ともプロモーションビデオを作成すべきとのリクエスト。

このプロジェクトの事務局を務める篠笛奏者の阿部一成さんが早速行動を開始。コロナウイルスによる緊急事態宣言も幸いに解けたこともあり、標高約1千メートル前後の山中にかつて存在した別子銅山の旧小足谷集落の遺構、小足谷劇場と接待館跡地で先ず、曾我部事務局長が担当する「大いなる存在と語り部」の撮影収録が行われました。

この小足谷には、明治から大正に掛けて、山の全権を握っていた採鉱課長の社宅を始め、接待館、80戸に及ぶ社員の社宅、醸造場、百貨店、旅館、料理店、円通寺、小足谷小学校 (明治19年創立)、土木課、小足谷劇場

(収容能力3千人)、住友病院等重要建物が建ち並んでいて、かつては、1万2千人に及ぶ人々がこの山で働いていたそうです。が現在は当時の集落も森に埋もれ、今回訪ねた赤レンガの遺構群が当時の繁栄を物語るのみです。



山中の緑に眠る赤レンガの遺構群は、どこか神秘的で風の音や谷のせせらぎ、鳥の声などと一体化して、撮影収録の背景には事務局長の役所に似合う特有な空気が満ちていました。

記 事務局長 曾我部英司



頂上社 護持奉賛会のお知らせ

皆様のご奉賛を戴き、頂上社のご復興より、十六年が経過しました。

皆さま、誠に有難うございます。厳しい自然環境の中に、頂上社を始め、迂回路等に、維持管理工事の必要性が現れて参りました。

今後もどうかお見守りくださいます様、ご理解ご協力を、お願い申し上げます。

・頂上社ご復興奉賛会は名称を「頂上社護持奉賛会」と改め、維持管理を目的とし奉賛活動を継承して参ります。
・金十万円以上のご奉賛の方のご芳名は、年毎に本社境内にて芳名石に刻名させて頂きます。

宮司管長、拝。

お問い合わせ・郵便受付

〒七七九三―八五五五

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社 担当、岩本

TEL〇八九七―五五―四〇四四

口座 伊予銀行 小松支店

普通預金 一三九三九三三

宗教法人石鎚神社

宮司 武智正人

石 鎚 社 報

〒七七九三―八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四二六八 会館

五五―七二八二 FAX

五九―〇二〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八―〇一―一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】曾我部 英司

【印刷所】ブリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索